



北村 あや子 区政ニュース

区立保育園 11 園が 5 園に？ 新たな削減方針

21日(金)の文教・子育て支援委員会で、区はこれまでの「保育施策のあり方」を変更し、区立区営11園を今後5園まで減らすとしています。

区は2019年に、区立園12園のうち8園を拠点園として人材を配置、地域連携して区内の保育施設の質向上を図る一方、建替え時期に合わせて4園を民営化とする方針(「未来に向けた保育施策のあり方」)を発表。

			2019年の計画	新たな計画
南千住	第二南千住	(南千住2)	○	○
	三河島	(荒川3)	○	◆
荒川	荒川	(荒川5)	◆	◆
	荒川さつき	(荒川8)	○	○
町屋	原	(町屋5)	○	○
尾久	東尾久	(東尾久2)	◆	◆
	熊野前	(東尾久8)	○	○
	西尾久みどり	(西尾久4)	○	◆
日暮里	第二東日暮里	(東日暮里1)	○	◆
	ひぐらし (※今年度で閉園予定)	(西日暮里5)	◆	◆
	西日暮里	(西日暮里6)	○	○



現在 **11園から 5園に減らす** 計画
さらに汐入こども園も民営化or閉園へ

○…残す
◆…民営化又は廃止

【拠点園の選定】(当面) (別紙2「拠点園配置エリア図」参照)

No	エリア	地域	設置数	拠点園		エリアネットワークの規模	
				拠点園	施設数	保育定員総数(人)	
①	南千住		2	・第二南千住 ・荒川さつき	18	1,640	
②	荒川		1	・三河島	9	799	
③	町屋		1	・原	8	892	
④	尾久		2	・熊野前 ・西尾久みどり	14	1,096	
⑤	日暮里		2	・第二東日暮里 ・西日暮里	22	1,513	

しかし、コロナ禍の対応や、民間園の保育士一斉退職、不適切保育などの問題が発生、民営化されたのは1園です。今年度ひぐらし保育園が閉園予定で、直営は10園となっています。

8園➡5園構想へ 民営化、閉園も

区は、区民の声を聞かず、これまでの8拠点園構想から「区内5つのエリアに拠点園を1園ずつ」へ変更。第二南千住、荒川さつき、原、熊野前、西日暮里以外の5園について「保育需要の状況により段階的に民営化、もしくは閉園する」としています。短・中時間利用を2026年度で終了する汐入こども園も、将来民営化か閉園としています。

体制整備は区立の充実こそ

少子化で企業園の撤退も考えられる中、区立園は

地域の拠点としてゆきとどいた保育環境を支え、ケアの必要な子どもたちにとっても役割は重要です。共産党区議団はこれまでも、保育の質確保のガイドライン策定などを求めてきました。いまでも待機児童があり「保育園に入れない」との声も多く、引き続き保育の質・量の確保が問われています。財政効率優先ではなく保育園・幼稚園とも地域で育つ体制整備に区の取り組みが必要ではないでしょうか。改めて問いたい。

区役所の女子トイレ個室に生理用品設置

2021年3月に「生理の貧困」を区議会で初めて取り上げて4年が経ちました。区役所の女子トイレ個室に2月から生理用品が設置され、北庁舎などにも設置が進んでいます。トイレトーパーペーと同じように設置を、という要望が実現。さらに広げていきたいと思えます。



発行:日本共産党議員団 TEL:3802-4627

e-mail:arajcp@tcn-catv.ne.jp

<北村あや子事務所>

荒川区西尾久2-4-8-1階 TEL&FAX:3894-6668



荒川区議会から 2 件の意見書が出されます

3月14日の本会議で①「医療用医薬品の安定供給の確保を求める意見書」②「高額療養費制度における負担上限額引き上げの見直しを求める意見書」（日本共産党荒川区議団提案）が議員提出議案となりました。

①は全議員が提出者で全会一致の可決、②は公明党以外の議員が提出者になり全会一致で可決され、意見書が提出されることになりました。

4月1日から荒川区副区長、教育長が変わります

3月14日開催された本会議で、荒川区副区長と荒川区教育委員会教育長の選任が区長から提案され、荒川区議会は任命を同意しました。女性の副区長が誕生です。

副区長 小林直彦氏

1990年荒川区入職

総務企画担当課長・情報システム課長・職員課長・管理部参事を経て現在、総務企画部長

副区長 谷井千絵氏

1994年荒川区入職

観光振興課長・高齢者福祉課長・文化交流推進課長・子育て支援課長・子ども家庭部長を経て現在、地域文化スポーツ部長

教育長 阿部忠資氏

1989年荒川区入職

社会教育課長・保育課長・福祉推進課長・総務企画部参事・教育部長を経て現在、区民生活部長

教育委員も小林敦子氏（早稲田大学教授）坂田一郎氏（東京大学教授）が退任され、新しく八木敦子氏（東京国際外語学院校長）中澤礼子氏（ひぐらし小学校PTA副会長）が選任されました。また、監査委員も望月壽夫氏が任期満了となり飯田小夜子氏（公認会計士協会荒川会会長）が選任されました。

街の声 3月16日に開催した北村あや子区政報告会での声を中心に一部をご紹介します



今年度で閉園になるひぐらし保育園

* 公立保育園、公立幼稚園では質の高い保育・教育が行われているのでこれまで通りに存続させてほしい。➡本当にその通りだと思います。今でも待機児童が発生しています。量とともに質の向上も大切です。

* 尾久ふれあい館 3階和室の入り口の照明が暗い➡区の担当部署に伝え、改善するよう求めました。

* 都営西尾久 8丁目アパート 1号棟の旧眼科の軒先テントの一部が腐食している。最近強い風が吹くことが多いので心配している➡東京都に状況を伝え、対応を依頼しました。

* 東京都は「犬猫殺処分ゼロ」というけれど、都独自の数字で全国の基準とは違うと聞いた。実際に殺されているのか。➡噛み癖があるなど譲渡に適さない動物の致死処分はカウントしない独自の計算方法です。実際の致死処分の数は2023年度205頭とのこと。他道府県との比較のためにも全国統一基準で示すべきですし、なにより動物も一つの命です。責任をもって最後まで飼うことが大切だと思います。



* 区立幼稚園の昼食が家族が用意するお弁当から仕出し弁当になった。小学校近くにある区立園には給食で対応してほしい。➡日本共産党区議団は「学校給食室の活用も検討」するよう、要望にあげています。

* 西尾久 7丁目都電沿いのごみ集積所、カラス除けの青ネットをかけているが、バラが成長すると、とげがひっかかり困っている。➡バラの植栽を担当する部署に連絡をし、バラのとげを避ける方法を検討することになりました。



日時: 4月18日(金) 18:30~20:00 TEL&FAX: 03-3894-6668 **要予約**

会場: 北村あや子事務所(西尾久2-4-8 1階)
日々の生活、仕事、相続...ひとりで悩まずに相談を。
弁護士と北村がお伺いします。

